

沖縄県における精神保健福祉の現状
令和元年(平成31年)

沖縄県保健医療部地域保健課

はじめに

精神保健福祉施策については、平成25年に改正された精神保健福祉法において、精神障害者の地域生活への移行を促進するため、精神障害者の医療に関する指針の策定、保護者制度の廃止、医療保護入院における入院手続等の見直し等が行われました。

さらに、国は、平成30年3月に、入院中の精神障害者が円滑に地域生活に移行できるよう「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」を示し、各自治体における支援及び体制整備の推進等を呼び掛けました。

国の精神保健福祉施策の動向を踏まえ、県においては、精神科救急医療体制の整備、精神保健福祉法に基づく通報等への対応、病院実地指導のほか、退院後支援に係るマニュアルの作成や、「沖縄県障害者福祉計画（第5期）・沖縄県障害児福祉計画（第1期）」との連携による地域移行・地域定着の推進に取り組んでいるところです。

また、自殺対策については、平成28年に自殺対策基本法の改正に伴い、都道府県・市町村において自殺対策計画の策定が義務づけられたことを受け、市町村自殺対策及び計画策定等の支援強化のため、平成30年4月に沖縄県自殺対策推進センターを設置、平成31年3月には、自殺対策の更なる推進のため、第2次沖縄県自殺総合対策行動計画を策定しました。

精神保健福祉施策の推進のためには、当事者やその家族、関係機関等の御理解と御協力が不可欠であり、県としては、更なる精神保健福祉の向上のため、引き続き、関係者の方々との連携体制強化等に努めていきたいと考えております。

この小冊子は本県の精神保健福祉の現状等についてまとめたものであり、関係機関をはじめ多くの方々に精神障害者を取り巻く現状を理解するため御活用いただければ幸いです。

最後に、作成にあたり御協力をいただいた皆様に感謝し、心よりお礼申し上げます。

令和2年10月

沖縄県地域保健課

目 次

沖縄県における精神保健福祉の現状

1. 精神保健福祉対策の概要	1
2. 県内精神科医療施設の現状	2
(1) 施設及び病床数	2
(2) 2次医療圏別病院数、病床数	2
(3) 2次医療圏別精神科医療施設数	2
(4) 2次医療圏別精神保健指定医の状況	2
(5) 経営主体別精神科病院の現況	3
(6) 精神科医療施設、関係機関の分布図	5
(7) 精神病床数の年次推移	6
(8) 精神科病院・診療所等受療状況の年次推移	6
(9) 精神科病院の利用状況	7
(10) 入院形態別の在院患者数	8
(11) 年齢階級別の在院患者数	8
(12) 在院期間別・入院形態別の在院患者数	8
(13) 病院の平均在院日数	10
(14) 平均在院日数の推移	10
(15) 在院患者の疾患別内訳	11
3. 通報・申請・届出の状況	12
(1) 通報・申請制度	12
(2) 年度別保護申請通報等件数・措置入院件数・措置解除件数	12
(3) 医療保護入院・退院届出状況	12
4. 沖縄県精神障害者通院患者リハビリテーション事業	13
(1) 登録状況	13
(2) 訓練期間終了後の状況	13
5. 自殺対策	14
(1) 自殺者数の推移	14
(2) 自殺総合対策行動計画	14
(3) 県の取組	14
6. 高次脳機能障害支援普及事業	16
(1) 事業目的	16
(2) 事業実績	16
7. 総合精神保健福祉センター活動状況	17
(1) 普及啓発、技術指導、教育研修等状況	17
(2) 精神医療審査会状況	17
(3) 精神障害者保健福祉手帳交付申請状況	17
8. 医療費公費負担制度	18
(1) 制度概要	18
(2) 年次別通院公費負担承認件数	18
(3) 疾患別通院公費負担承認件数	18
9. 沖縄県精神科救急医療体制概要	19
(1) 目的	19
(2) 内容	19

(3) 年度別受信状況	-----	20
10. 令和元年度沖縄県の精神保健福祉関係予算	-----	21
(1) 令和元年度精神保健福祉関係予算	-----	21
(2) 精神医療費年度推移	-----	22
(3) 年度別公費負担入院医療費の支払件数及び支払金額	-----	22
(4) 年度別公費負担通院医療費の支払件数及び支払金額	-----	22

精神保健医療福祉社会資源

1. 沖縄県精神保健福祉機関	-----	24
2. 精神科病院	-----	25
3. 精神科クリニック・精神科外来	-----	27
4. 市町村精神保健福祉担当課	-----	29
5. 関係団体	-----	31
6. 指定特定相談支援事業所	-----	32
7. 指定一般相談支援事業所	-----	38
8. グループホーム	-----	40
9. 都道府県精神保健福祉担当課一覧	-----	45
10. 全国精神保健福祉センター	-----	46

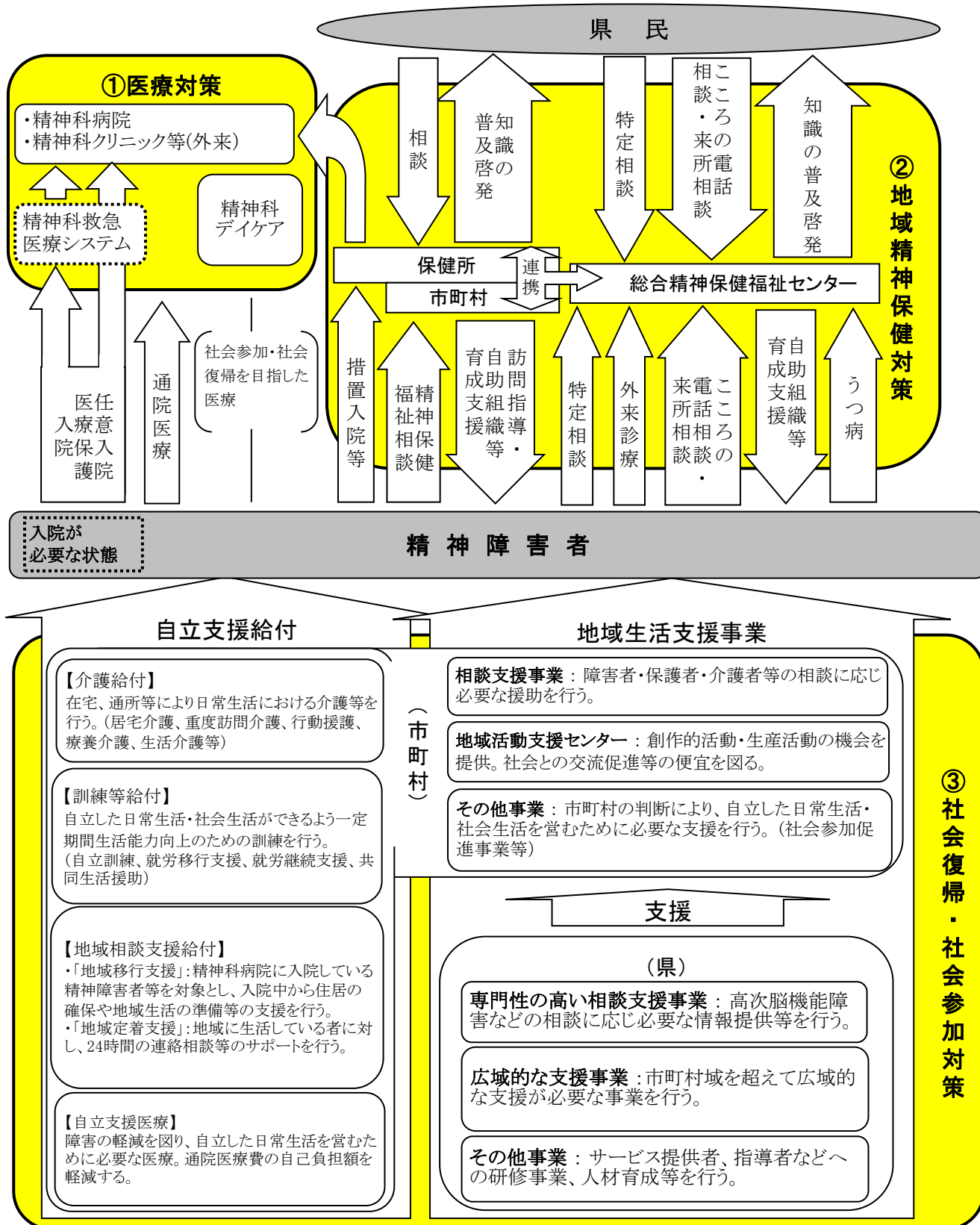
沖縄県における精神保健福祉の現状

1 精神保健福祉対策の概要

県では精神保健福祉対策として、精神障害の発生予防から精神障害者の医療及び保護、社会復帰促進、自立と社会参加支援までの各種施策を、第4次沖縄県障害者基本計画等に基づき総合的、計画的に推進している。

精神保健対策の概要図

図1



2 県内精神科医療施設の現状

(1) 施設及び病床数

本県における令和元年6月30日現在の精神病床を有する医療施設数は25施設で、病床数は5,363床となっている。また、精神科・心療内科医療施設は102施設(当課把握数)であり、精神科病床を有する医療施設をあわせ、127施設となっている。

(2) 2次医療圏別病院数、病床数

(令和元年6月30日現在)表1

2次医療圏	北部	中部	南部	宮古	八重山	合計
施設数	2	8	13	1	1	25
病床数 (人口万対)	337 (33.4)	1,859 (36.6)	3,076 (41.8)	49 (9.2)	38 (7.0)	5,359 (36.9)
人口	100,992	507,479	736,089	53,188	54,217	1,451,965

※人口は令和元年7月1日現在推計人口

(3) 2次医療圏別精神科医療施設数

(令和元年6月30日現在)表2

2次医療圏	北部	中部	南部	宮古	八重山	合計
施設数 (人口万対)	7 (0.7)	41 (0.8)	72 (1.0)	4 (0.8)	3 (0.6)	127 (0.9)
人口	100,992	507,479	736,089	53,188	54,217	1,451,965

※施設数は、630調査への回答結果に基づく

(4) 2次医療圏別精神保健指定医の状況(精神科病床を有する医療機関)

精神保健指定医制度は、一定の精神科実務経験を有し法律等に関する研修を修了した医師のうちから、患者本人の意思によらない入院や行動制限の判定を行う者として、厚生労働大臣が指定する制度である。

(令和元年6月30日現在)表3

2次医療圏	北部	中部	南部	宮古	八重山	合計
指定医数	4	53	94	1	2	154

(5) 経営主体別精神科病院の現況

県内の精神科病院(総合病院の精神病棟を含む。)を経営主体別に見ると、県立などの公立病院に比較し、医療法人が多く、76%を占めている。

[上段: 病院数、下段: 許可病床数]

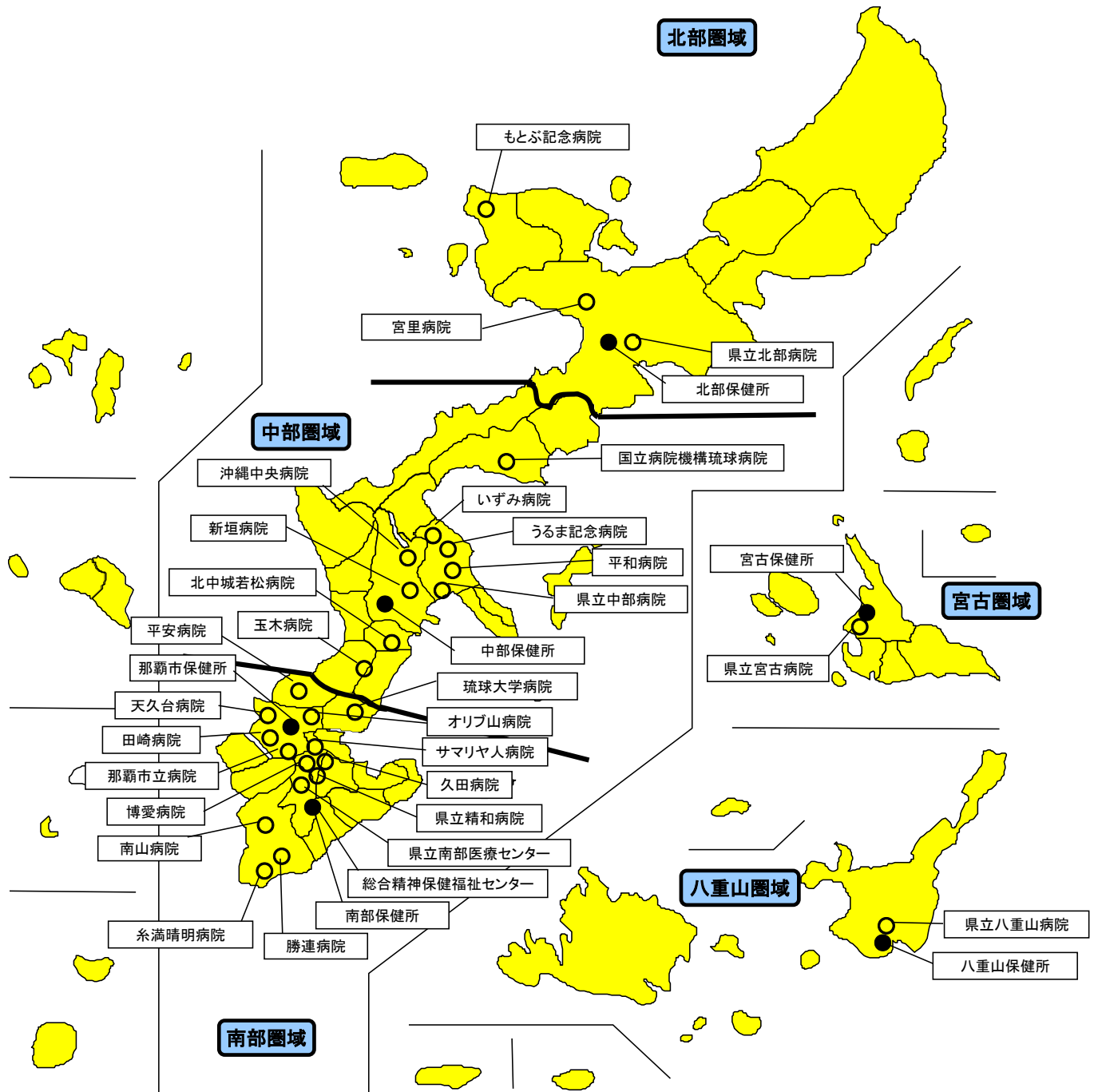
(令和元年6月30日現在)表4

経営主体 年度	国 (厚生省)	琉球大学 (文部省)	旧琉球 政府	県	財団法人 (沖縄県 精神衛 生協会)	医療法人	個人	計	備考
47	1 350	- -	- -	1 50	1 340	- -	8 1,478	11 2,218	●琉球精神病院厚生省移管(5/15) ●玉木病院開設
48	1 350	- -	- -	3 440	- -	- -	9 1,657	13 2,447	●沖縄精和病院県立移管340床(4/1) ●八重山病院精神科50床開設 ●田崎第二病院開設
49	1 350	1 25	- -	3 440	- -	1 200	9 1,657	15 2,672	●琉大附属病院精神科病棟25床開設 ●糸満清明病院開設
50	1 350	1 25	- -	3 440	- -	1 200	10 1,802	16 2,817	●沖縄中央病院開設
51	1 350	- -	- -	3 440	- -	1 200	10 1,892	15 2,882	●琉大附属病院精神科病棟廃止
52	1 350	- -	- -	3 440	- -	2 445	9 1,822	15 3,057	●たがみ病院医療法人移行
53	1 350	- -	- -	3 406	- -	2 445	10 2,013	16 3,214	●県立精和病院34床減 ●勝連老人病院開設
54	1 350	- -	- -	3 406	- -	2 521	10 1,937	16 3,214	●勝連老人病院96床増 ●たがみ病院76床増
55	1 350	- -	- -	3 406	- -	3 703	10 2,170	17 3,629	●本部記念病院182床開設 ●田崎第二病院48床増 ●玉木病院15床増
56	1 350	- -	- -	3 406	- -	4 903	9 1,978	17 3,637	●島医院9床減 ●田崎第二病院医療法人移行
57	1 350	- -	- -	3 406	- -	4 903	9 2,031	17 3,690	●勝連老人病院53床増
58	1 350	- -	- -	3 406	- -	4 953	10 2,239	18 3,948	●田崎第二病院50床増 ●福寿草病院124床開設 ●平安病院84床増 ●たがみ病院をオリブ山病院に改称
59	1 350	- -	- -	3 456	- -	4 952	10 2,322	18 4,080	●宮古病院精神科50床増 ●勝連病院83床増 ●南山病院144床開設
60	1 350	- -	- -	3 460	- -	4 952	10 2,443	18 4,205	●島医院閉院19床 ●いずみ病院開設140床 ●精和病院移転310床
61	1 350	- -	- -	3 460	- -	4 952	11 2,710	19 4,472	●勝連病院101床増 ●久田病院22床増
62	1 350	- -	- -	3 460	- -	4 966	14 3,180	22 4,956	●平和病院開設 ●博愛病院開設 ●北中城若松病院開設
63	1 350	- -	- -	4 500	- -	4 1,038	14 3,347	23 5,235	●県立北部病院40床開設 ●糸満清明病院50床増 ●本部記念病院70床増 ●玉木病院17床増 ●南山病院71床増 ●いずみ病院80床増 ●博愛病院9床増 ●北中城若松病院10床減
平成 元年	1 350	- -	- -	4 500	- -	7 1,771	12 2,927	24 5,548	●具志川記念病院開設 ●名護浦和病院43床増 ●名護浦和病院閉鎖 ●宮里病院開設167床 ●田崎・新垣・平和病院医療法人移行
2	1 350	- -	- -	4 500	- -	7 1,771	12 2,927	24 5,548	●天久台病院医療法人移行
3	1 350	1 40	- -	4 500	- -	10 2,363	9 2,335	25 5,588	●琉大附属病院40床開設 ●いずみ・北中城若松病院医療法人 移行
4	1 350	1 40	- -	3 460	- -	10 2,363	9 2,335	24 5,548	●県立北部病院40床閉鎖
5	1 350	1 40	- -	3 460	- -	10 2,630	9 2,168	24 5,648	●本部記念病院50床増 ●新垣病院痴呆病棟50床増 ●宮里病院医療法人移行

経営主体 年度	国 (厚生省)	琉球大学 (文部省)	旧琉球 政府	県	財団法人 (沖縄県 精神衛 生協会)	医療法人	個人	計	備考
6	1 350	1 40	- -	3 460	- -	13 3,568	6 1,280	24 5,698	●勝連・南山・沖縄中央病院医療法人 移行 ●天久台病院痴呆病棟50床増 ●サマリヤ人病院痴呆病棟50床増 ●田崎病院50床減
7	1 350	1 40	- -	3 460	- -	14 3,940	5 958	24 5,748	●久田病院医療法人移行
8	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,618	2 230	24 5,698	●博愛・平安・具志川記念病院医療 法人移行 ●サマリヤ人病院66床増 ●田崎病院66床減
9	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,618	2 230	24 5,698	●糸満清明病院28床減 ●本部記念病院からノーブルメディカル センターへ名称変更 ●ノーブルメディカルセンター12床減
10	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,578	2 230	24 5,658	
11	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,578	2 230	24 5,658	
12	1 350	1 40	- -	3 460	- -	17 4,578	2 230	24 5,658	
13	1 350	1 40	- -	3 460	- -	18 4,774	1 19	24 5,643	●厚生省から厚生労働省へ変更 ●玉木病院医療法人移行 ●ノーブルメディカルセンター24床減
14	1 350	1 40	- -	3 460	- -	18 4,765	1 19	24 5,634	
15	1 350	1 40	- -	3 460	- -	18 4,765	1 19	24 5,634	●具志川記念病院からうるま記念病院 へ名称変更
16	1 350	1 40	- -	3 460	- -	19 4,784	- -	24 5,634	
17	1 350	1 40	- -	3 460	- -	19 4,782	- -	24 5,632	●琉球病院、独立行政法人に移行 ●琉大附属、国立大学法人に移行 ●サマリヤ人病院10床増 ●田崎病院10床減 ●糸満清明病院2床減
18	1 350	1 40	- -	4 410	- -	18 4,759	- -	24 5,559	●宮古病院50床減 ●南部医療センター・こども医療セン ター開棟(精和病院から5床移管) ●ノーブルメディカルセンター10床減 ●久田病院6床減 ●勝連病院2床減
19	1 350	1 40	- -	4 410	- -	19 4,764	- -	25 5,564	●ノーブルメディカルセンター6床減
20	1 326	1 40	- -	4 405	- -	19 4,714	- -	25 5,485	●琉球病院24床減 ●精和病院5床減 ●ノーブルメディカルセンター50床減
21	1 326	1 40	- -	4 405	- -	19 4,704	- -	25 5,475	●ノーブルメディカルセンター10床減
22	1 326	1 40	- -	4 405	- -	19 4,704	- -	25 5,475	
23	1 326	1 40	- -	4 355	- -	19 4,702	- -	25 5,423	●精和病院50床減 ●勝連病院2床減
24	1 326	1 40	- -	4 355	- -	19 4,696	- -	25 5,417	●サマリヤ人病院6床減 ●ノーブルメディカルセンターから もとぶ記念病院へ名称変更
25	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	●宮古病院5床減
26	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	
27	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	
28	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	
29	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,696	- -	25 5,412	
30	1 326	1 40	- -	4 350	- -	19 4,655	- -	25 5,371	●糸満清明病院3床減 ●もとぶ記念病院26床減 ●久田病院12床減
令和 元年	1 326	1 40	- -	4 338	- -	19 4,655	- -	25 5,359	●八重山病院12床減

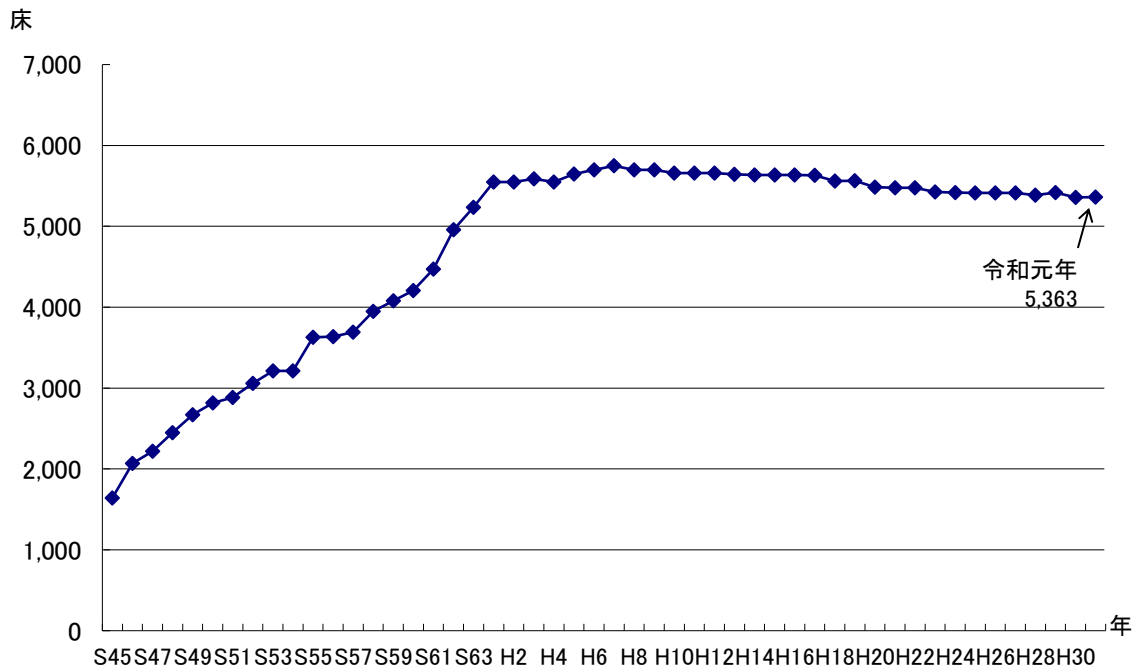
(6) 精神科医療施設、関係機関の分布図

(令和2年4月1日現在) 図2



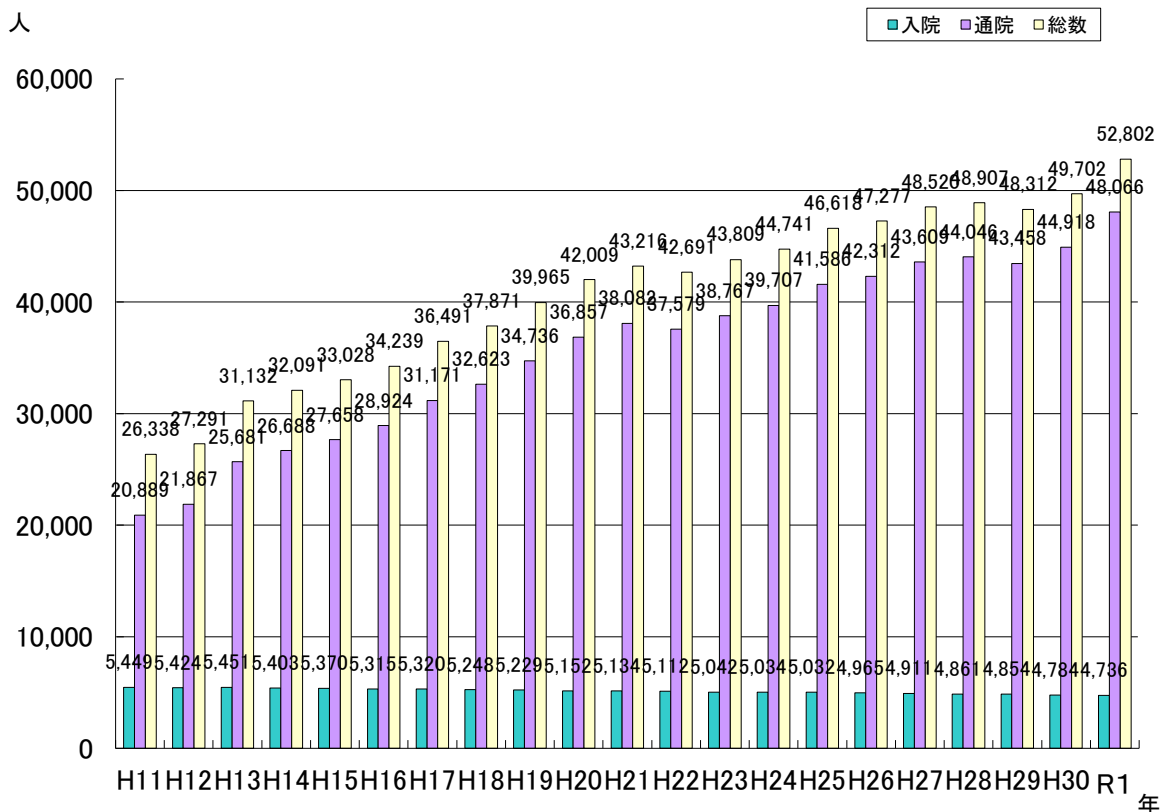
(7) 精神病床数の年次推移

図3



(8) 精神科病院・診療所等受療状況の年次推移

図4



※入院：精神保健福祉資料（630調査）への回答に基づく。

※通院：（～H28）精神保健福祉資料（630調査）への回答結果に基づく。

H29より精神保健福祉資料（630調査）の外来患者に係る項目が削除されたため、
（H29～）通院公費負担承認件数に基づく。

(9)精神科病院の利用状況

(令和元年6月30日現在)表5

施設名	精神 病床数	指定 病床数	在院 患者数	病床 利用率	措置 入院者数	医療保護 入院者数	任意 入院者数	応急 入院者数	医療観察 法による 鑑定入院 者数	医療観察 法による 入院者数
琉球病院	326	…	239	73.3	3	145	60	-	-	31
精和病院	246	…	182	74.0	3	39	140	-	-	-
宮古病院	49	…	33	67.3	-	20	13	-	-	-
八重山病院	38	…	19	50.0	1	9	9	-	-	-
オリブ山病院	232	5	213	91.8	-	91	122	-	-	-
糸満清明病院	297	5	267	89.9	2	172	93	-	-	-
もとぶ記念病院	170	4	161	94.7	-	106	55	-	-	-
サマリヤ人病院	346	5	330	95.4	-	69	261	-	-	-
田崎病院	170	18	160	94.1	-	49	111	-	-	-
新垣病院	273	20	251	91.9	3	205	42	-	1	-
平和病院	212	17	204	96.2	1	64	139	-	-	-
天久台病院	333	16	323	97.0	3	116	203	-	1	-
平安病院	309	15	301	97.4	7	195	99	-	-	-
久田病院	214	15	192	89.7	1	15	176	-	-	-
玉木病院	211	1	162	76.8	1	30	131	-	-	-
沖縄中央病院	239	6	207	86.6	-	135	72	-	-	-
勝連病院	520	-	388	74.6	-	86	302	-	-	-
宮里病院	167	10	160	95.8	1	73	86	-	-	-
南山病院	215	16	211	98.1	2	90	119	-	-	-
いずみ病院	220	5	203	92.3	-	84	119	-	-	-
博愛病院	149	5	122	81.9	-	64	58	-	-	-
北中城若松病院	108	-	107	99.1	-	100	7	-	-	-
うるま記念病院	270	-	264	97.8	-	127	137	-	-	-
琉大病院	40	…	33	82.5	-	19	13	1	-	-
南部医療センター・ こども医療センター	5	…	4	80.0	-	1	3	-	-	-
合計	5,359	163	4,736	88.4	28	2,104	2,570	1	2	31

※630調査への回答結果に基づく

(10)入院形態別の在院患者数

(各年6月30日時点)表6

費目	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
	入院患者数	率(%)	入院患者数	率(%)	入院患者数	率(%)	入院患者数	率(%)	入院患者数	率(%)
総数	4,911	100.0	4,861	100.0	4,854	100.0	4,784	100.0	4,736	100.0
措置入院	21	0.4	23	0.5	35	0.7	20	0.4	28	0.6
医療保護入院	2,105	42.9	2,045	42.1	2,047	42.2	2,079	43.5	2,104	44.4
任意入院	2,750	56.0	2,767	56.9	2,735	56.3	2,648	55.4	2,570	54.3
応急入院	-	0.0	-	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0
医療観察法による鑑定入院	2	0.0	1	0.0	-	0.0	1	0.0	2	0.0
医療観察法による入院	33	0.7	25	0.5	36	0.7	35	0.7	31	0.7
他法入院(結核)	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0

※630調査への回答結果に基づく

(11)年齢階級別の在院患者数

(令和元年6月30日現在)表7

年齢	男	女	不明	計	%
20歳未満	10	14	0	24	0.5
20歳以上40歳未満	197	156	0	353	7.5
40歳以上65歳未満	1,076	684	1	1,761	37.2
65歳以上75歳未満	721	495	0	1,216	25.7
75歳以上	630	752	0	1,382	29.2
計	2,634	2,101	1	4,736	100.0

※630調査への回答結果に基づく

(12)在院期間別・入院形態別の在院患者数

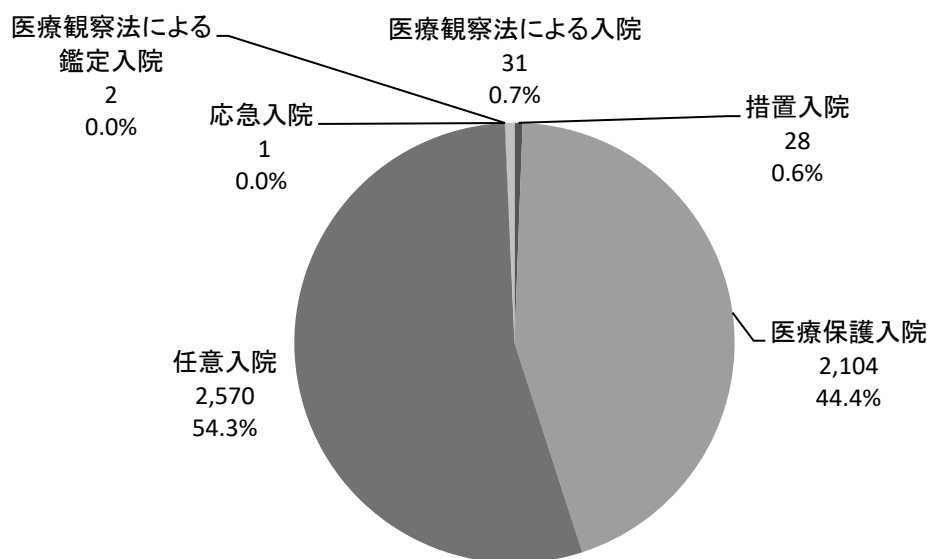
(令和元年6月30日現在)表8

在院期間	措置入院	医療保護	任意入院	その他	合計	%
1ヶ月未満	7	234	261	2	504	10.6
1ヶ月以上3ヶ月未満	13	292	311	2	618	13.0
3ヶ月以上6ヶ月未満	4	238	180	3	425	9.0
6ヶ月以上1年未満	2	243	254	4	503	10.6
1年以上5年未満	1	620	824	20	1,465	30.9
5年以上10年未満	0	246	324	3	573	12.1
10年以上20年未満	1	163	246	0	410	8.7
20年以上	0	68	168	0	236	5.0
不明	0	0	2	0	2	0.0
計	28	2,104	2,570	34	4,736	100.0

※630調査への回答結果に基づく

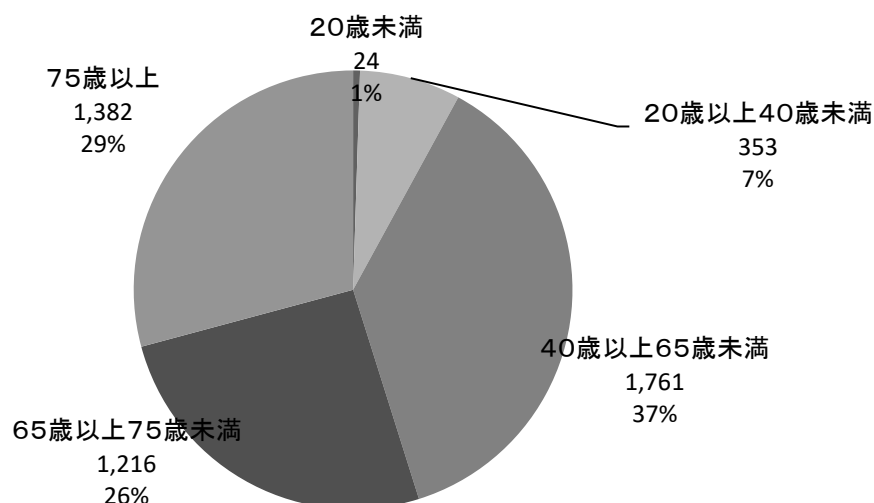
入院形態別の在院患者数(令和元年6月30日)

図5



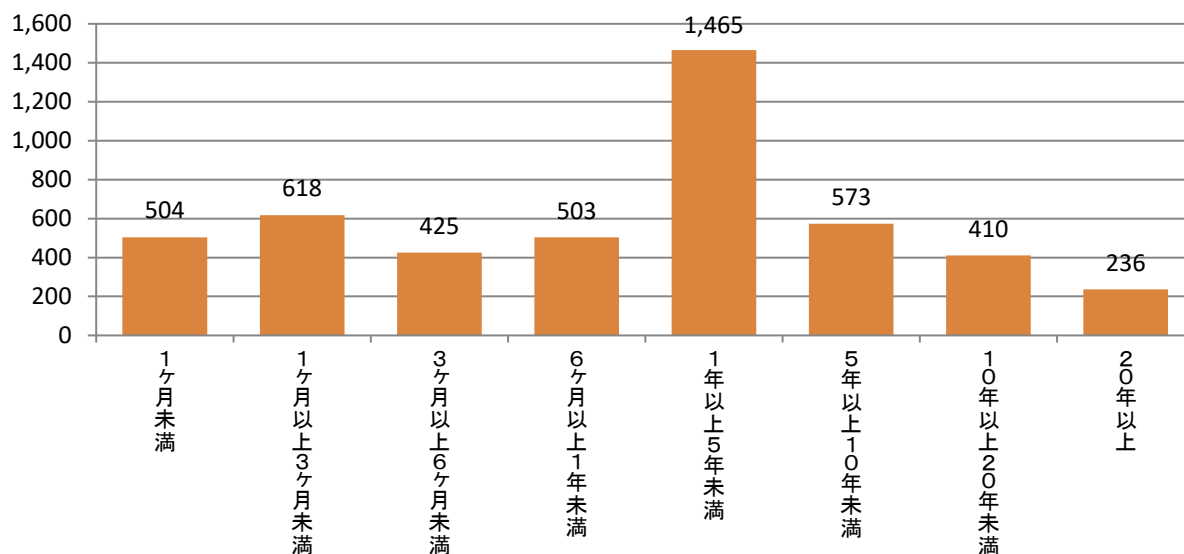
年齢階級別の在院患者数(令和元年6月30日)

図6



在院期間別の在院患者数(令和元年6月30日現在)

図7



(13)病院の平均在院日数

[単位:日]

(平成30年 年間) 表9

	全病床		精神病床		療養病床		一般病床	
全国	27.8		265.8		141.5		16.1	
長い県	高知	45.6	山口	415.9	富山	220.1	高知	21.4
	鹿児島	40.8	大分	371.1	北海道	192.7	熊本	19.7
	佐賀	40.8	鹿児島	360.0	石川	192.2	鹿児島	19.6
	山口	39.4	長崎	357.1	京都	189.4	大分	19.4
	熊本	39.1	徳島	351.1	高知	182.1	和歌山	19.0
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	
短い県	岐阜	24.4	滋賀	226.3	長野	104.1	静岡	15.2
	長野	23.6	福井	226.3	大分	102.9	宮城	15.1
	愛知	23.5	大阪	221.5	宮城	102.7	愛知	13.8
	神奈川	21.8	長野	210.9	鳥取	102.6	東京	13.7
	東京	21.8	東京	188.8	長崎	92.9	神奈川	13.7
沖縄県	28.8		242.6		145.4		15.2	

資料:医療施設(静態・動態)調査・病院報告

(14)平均在院日数の推移

[単位:日]

(各年 年間)表10

		全病床	精神病床	療養病床	一般病床
平成23年	沖縄県	33.3	294.3	187.3	17.2
	全国	32.0	298.1	175.1	17.9
平成24年	沖縄県	32.6	284.3	184.0	16.8
	全国	31.2	291.9	171.8	17.5
平成25年	沖縄県	31.7	274.1	182.5	16.5
	全国	30.6	284.7	168.3	17.2
平成26年	沖縄県	31.1	263.1	178.8	16.2
	全国	29.9	281.2	164.6	16.8
平成27年	沖縄県	30.5	260.7	130.0	15.9
	全国	29.1	274.7	158.2	16.5
平成28年	沖縄県	30.5	260.7	130.0	15.9
	全国	29.1	274.7	158.2	16.5
平成29年	沖縄県	29.3	243.9	155.6	15.3
	全国	28.2	267.7	146.3	16.2
平成30年	沖縄県	28.8	242.6	145.4	15.2
	全国	27.8	265.8	141.5	16.1

資料:医療施設(静態・動態)調査・病院報告

(15) 在院患者の疾患別内訳

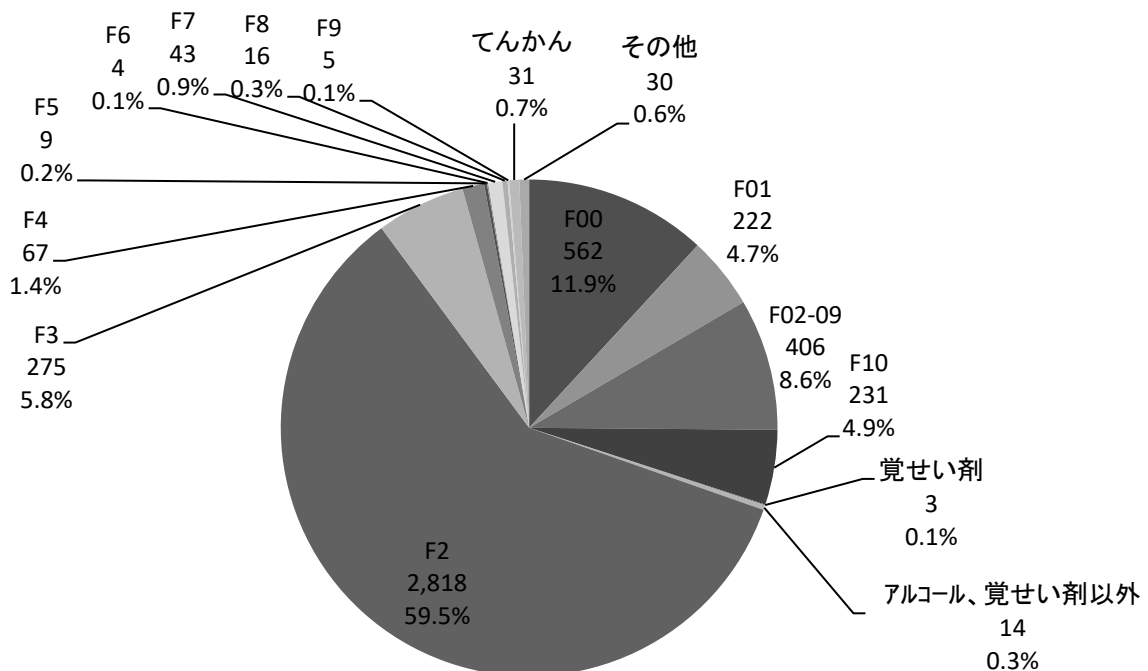
(各年6月末時点)表11

疾患名	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
	在院患者数	(%)	在院患者数	(%)	在院患者数	(%)	在院患者数	(%)	在院患者数	(%)
F00アルツハイマー病型認知症	489	(10.0%)	505	(10.4%)	501	(10.3%)	597	(12.5%)	562	(11.9%)
F01血管性認知症	223	(4.5%)	165	(3.4%)	168	(3.5%)	214	(4.5%)	222	(4.7%)
F02-09上記以外の症状性を含む器質性精神障害	402	(8.2%)	479	(9.9%)	467	(9.6%)	368	(7.7%)	406	(8.6%)
F10アルコール使用による精神及び行動の障害	205	(4.2%)	181	(3.7%)	181	(3.7%)	222	(4.6%)	231	(4.9%)
覚せい剤による精神及び行動の障害	1	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(0.1%)	3	(0.1%)
アルコール覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害	4	(0.1%)	9	(0.2%)	12	(0.2%)	6	(0.1%)	14	(0.3%)
F2統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	3,130	(63.7%)	3,079	(63.3%)	3,105	(64.0%)	2,911	(60.8%)	2,818	(59.5%)
F3気分(感情)障害	259	(5.3%)	238	(4.9%)	223	(4.6%)	252	(5.3%)	275	(5.8%)
F4神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	48	(1.0%)	69	(1.4%)	59	(1.2%)	55	(1.1%)	67	(1.4%)
F5生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	11	(0.2%)	8	(0.2%)	6	(0.1%)	6	(0.1%)	9	(0.2%)
F6成人のパーソナリティ及び行動の障害	6	(0.1%)	8	(0.2%)	7	(0.1%)	6	(0.1%)	4	(0.1%)
F7精神遅滞[知的障害]	23	(0.5%)	19	(0.4%)	25	(0.5%)	43	(0.9%)	43	(0.9%)
F8心理的発達の障害	6	(0.1%)	14	(0.3%)	18	(0.4%)	17	(0.4%)	16	(0.3%)
F9小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	4	(0.1%)	3	(0.1%)	1	(0.0%)	5	(0.1%)	5	(0.1%)
てんかん	35	(0.7%)	36	(0.7%)	32	(0.7%)	30	(0.6%)	31	(0.7%)
その他	65	(1.3%)	48	(1.0%)	49	(1.0%)	47	(1.0%)	30	(0.6%)
合計	4,911	(100%)	4,861	(100%)	4,854	(100%)	4,784	(100%)	4,736	(100%)

※630調査への回答結果に基づく

在院患者の疾患別内訳(令和元年6月30日現在)

図8



3 通報・申請・届出の状況

(1) 通報・申請制度

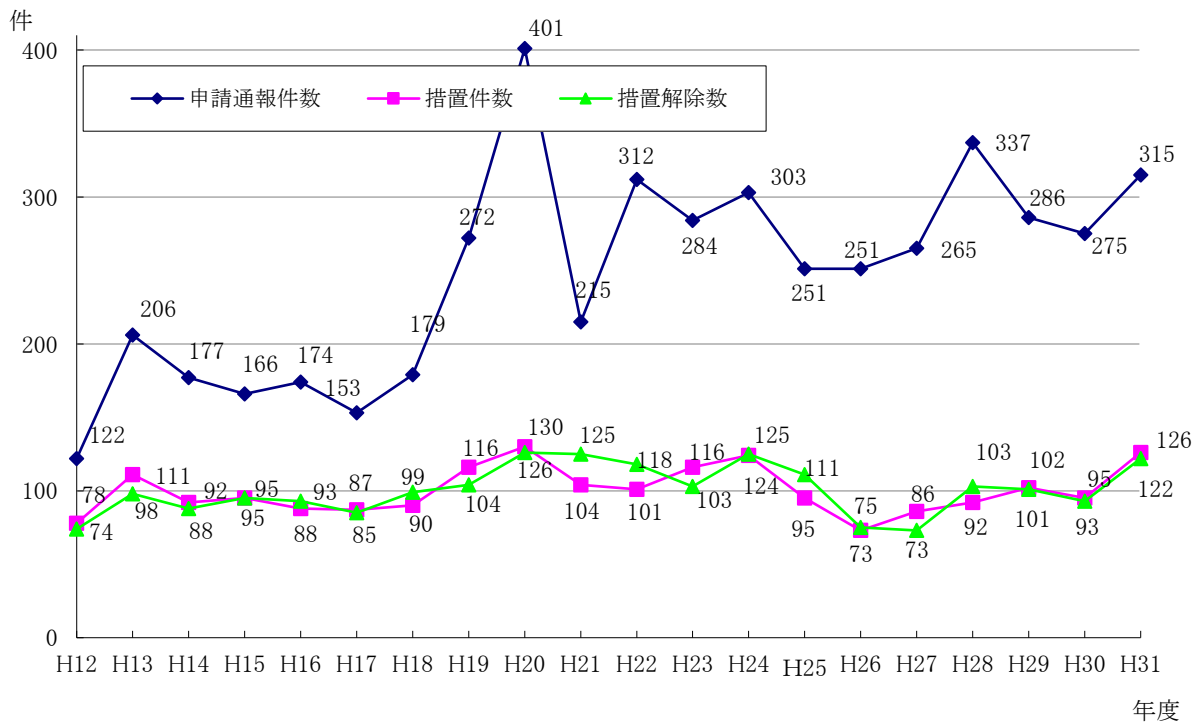
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律では、自傷・他害のおそれのある精神障害者及びその疑いのある者について、都道府県知事に通報等する制度があり、精神保健指定医の診察の結果、自傷・他害のおそれがあると認められた場合、都道府県知事は、当該精神障害者を精神科病院に入院させることができるとする措置入院制度が設けられている。

また、精神科病院の管理者は、診察の結果、自傷・他害のおそれはないが医療及び保護のための入院が必要な精神障害者について、本人の同意がなくても保護者の同意により入院させることができる医療保護入院制度や、入院を必要とする精神障害者で、任意入院を行う状態になく、急速を要し、保護者の同意が得られない場合に行う応急入院制度がある。

沖縄県内での通報件数及び措置入院件数は、令和元年度は5年前の平成26年度と比較し、通報件数で約25.5%の増加、措置入院件数で約72.6%の増加となっている(図9参照)。

(2) 年度別保護申請通報等件数・措置入院件数・措置解除件数(令和元年度)

図9



(3) 医療保護入院・退院届出状況(令和元年度)

(令和2年3月31日現在)表12

	医療保護入院			応急入院	
	家族等の同意による入院	市町村長の同意による入院	退院	指定医診察入院	特定医師診察入院
届出数	3,403	89	3,496	98	1
移送(再掲)	-	-		-	-

4 沖縄県精神障害者通院患者リハビリテーション事業

精神障害者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等を涵養するための社会適応訓練を行い、再発防止と社会的自立を促進し、もって精神障害者の社会復帰を図ることを目的とする事業である。

(1) 登録状況

表13

年度	協力事業所数	訓練者数	実訓練日数	備考
H18	67	128	13,635	令和元年度の 協力事業所の業種は ・清掃業 ・備品の修理 などである。
H19	66	124	11,881	
H20	56	112	11,452	
H21	50	81	6,771	
H22	47	70	6,544	
H23	35	53	4,528	
H24	30	41	3,149	
H25	24	33	3,089	
H26	24	50	2,405	
H27	24	29	1,532	
H28	21	26	1,110	
H29	18	28	1,799	
H30	13	20	960	
R1	7	7	352	

(2) 訓練期間終了後の状況

表14

年度	修了者実数(人)												訓練継続者 D	訓練者実数 C+D=E	
	就労			就労以外											合計 A+B=C
	訓練事業所と 雇用契約	他の事業所と 雇用契約	小計 A	就労訓練を利用 職適等の他の	生活訓練施設等 への入所・通所	訓練終了し在宅	訓練中止し在宅	入院	死亡	その他	小計 B				
R1	0人	0人	0人	2人	2人	0人	0人	1人	0人	1人	6人	6人	1人	7人	

5 自殺対策

(1) 自殺者数の推移

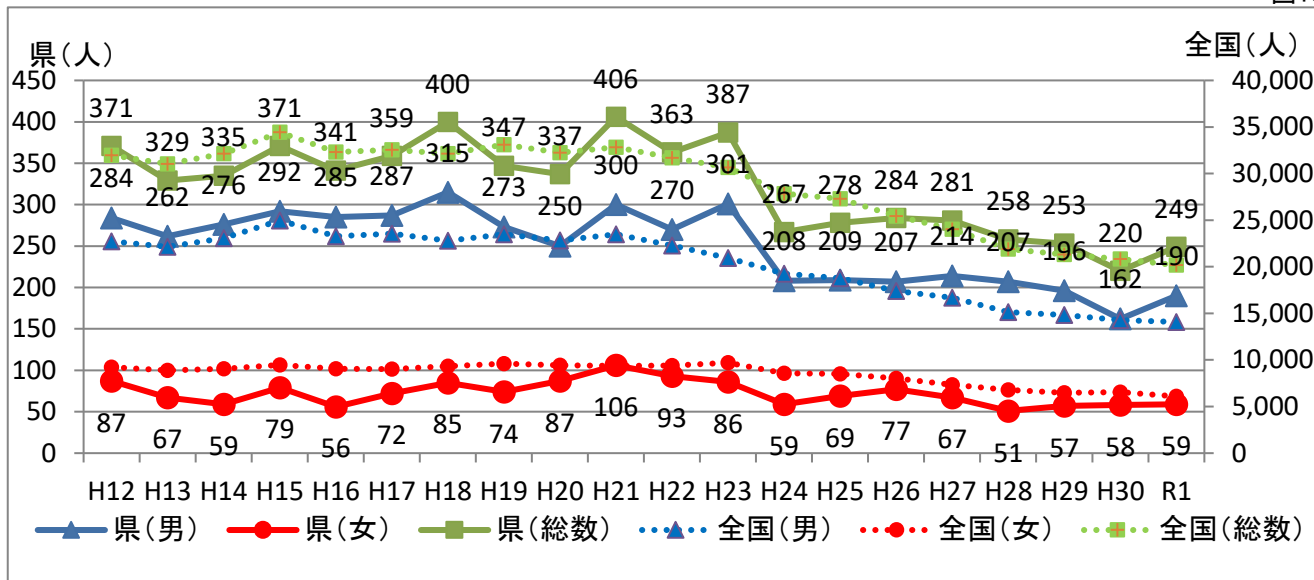
表15

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
男	284	262	276	292	285	287	315	273	250	300	270	301	208	209	207	214	207	196	162	190	
女	87	67	59	79	56	72	85	74	87	106	93	86	59	69	77	67	51	57	58	59	
総数	371	329	335	371	341	359	400	347	337	406	363	387	267	278	284	281	258	253	220	249	
死亡率	/	/	/	/	/	/	/	/	29.2	25.3	24.5	29.4	26.1	27.6	18.9	19.6	19.3	17.9	17.5	15.2	17.2

※自殺死亡率:人口10万人当たりの自殺者数

(警察庁の自殺統計より)

図10



(2) 自殺総合対策行動計画

沖縄県では、平成28年の自殺対策基本法改正、平成29年の大綱見直しを受け、平成31年3月に第2次自殺総合対策行動計画を策定した。自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、防ぐことができる社会的問題であるとの認識の下、自殺対策を生きることの包括的支援として、庁内関係部局をはじめ、関係機関・団体等との連携を強化し、誰も自殺に追い込まれることのない沖縄を目指す。

また、基本法改正にて、地域自殺対策計画の策定が都道府県のみならず、市町村にも義務付けられたことから、市町村の自殺対策計画策定・推進の支援を行い、地域の実情に応じた自殺対策の推進に取り組む。

(3) 県の取組

沖縄県自殺対策連絡協議会、自殺対策県機関連絡会議、保健所圏域毎の自殺対策関係機関連絡会議、総合精神保健福祉センター・保健所担当者会議等を開催し、関係機関との連携のもと、自殺対策に総合的、横断的に取り組んでいる。

① 自殺予防事業「かかりつけ医等心の対応力向上研修事業」

かかりつけ医に対し、適切なうつ病等精神疾患に関する診療の知識・技術及び精神科等の専門の医師との連携方法を習得させる為の研修を実施することにより、うつ病等精神疾患の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図ることを目的とする。

研修会

表16

テーマ	日時	会場	受講者数
「沖縄県における飲酒問題と琉球病院での取り組み」 「アルコールとうつ、自殺 ～『死のトライアングル』を防ぐために～」	令和元年 11月22日	沖縄県 医師会館	197名 (医師54名)

研修企画委員会

表17

組織	開催回数
各地区医師会代表、琉球大学医学部、行政機関	2回

②自殺対策強化事業

沖縄県及び市町村が、相談、人材養成、普及啓発、地域ネットワークの強化等の基幹的な事業や、特に必要性の高い自殺対策に関し、地域の特性に応じた効率的な対策を後押しし、地域における更なる自殺対策の強化を図ることを目的とする。

(令和元年度) 表18

区分	取組状況	総事業費 (円)
対面相談	【本庁】 各種相談窓口の整理及び紹介方法を整理、支援提供の円滑化への取組み。	1,781,622
	【那覇市】【石垣市】【浦添市】【名護市】【糸満市】【豊見城市】【宮古島市】【南城市】【国頭村】 【今帰仁村】【金武町】【伊江村】【嘉手納町】【南大東村】【伊平屋村】【八重瀬町】	12,474,969
電話相談	【総合精神保健福祉センター】 うつ病こころの相談窓口として専用電話相談窓口を開設。	770,703
	【南大東村】	7,020
人材養成	【本庁】 ゲートキーパー養成研修講師派遣事業を実施。 【総合精神保健福祉センター】 一般科かかりつけ医・精神科医を対象とした研修会、相談従事者向け研修会を実施。 【北部保健所】【中部保健所】【八重山保健所】 自殺対策支援従事者向け研修会、事例検討会、所内での伝達研修等を実施。 【宮古保健所】 アルコール関連問題を抱える家族及び支援者向けの家族教室、研修会を実施。 【沖縄いのちの電話(補助事業)】 いのちの電話相談員のスキルアップ、心のケアを目的とし、研修会等参加の支援。	5,073,805
	【那覇市】【宜野湾市】【石垣市】【浦添市】【沖縄市】【豊見城市】【今帰仁村】【北谷町】 【伊是名村】【八重瀬町】	837,809
普及啓発	【本庁】 自殺に関する正しい知識、相談窓口等について、ポスター、カード、新聞広告、パネル展、ラジオCM、Facebook等を活用した広報を実施。 【宮古保健所】【八重山保健所】 自殺対策や相談窓口等に関するパネル展示及びパンフレット、レスキューカードの配布を実施。	2,229,829
	【那覇市】【宜野湾市】【石垣市】【浦添市】【名護市】【沖縄市】【豊見城市】【宮古島市】 【国頭村】【今帰仁村】【本部町】【恩納村】【金武町】【伊江村】【嘉手納町】【北谷町】 【伊是名村】	3,279,718
自死遺族 支援機能構築	【総合精神保健福祉センター】 自死遺族支援者向け研修会、自死遺族「分かち合いの会」周知用チラシ等配布。	449,850
計画策定 実態調査	【本庁】 自殺対策連絡協議会を開催し各団体の取組等の共有をとおり、連携の在り方等について協議。	136,000
	【那覇市】【宮古島市】【西原町】	1,706,694
若年層対策	【総合精神保健福祉センター】 思春期相談機関職員、学校職員等を対象に、思春期の自傷や希死念慮に関する研修会を実施。	255,756
	【那覇市】【宜野湾市】【石垣市】【浦添市】【沖縄市】【国頭村】【本部町】【伊江村】 【北谷町】【南大東村】	1,301,903
自殺 未遂者支援	【北部保健所】 救急医療機関・精神科医療機関職員、生活困窮者支援機関職員等を対象に研修会を実施。	89,847
	【那覇市】【石垣市】	125,312
自殺未遂者 支援・連携 体制構築	【本庁】 自殺再企図を防ぐため、関係機関の資質向上・連携強化を目的に研修会を開催。 【中部保健所】 救急告示病院、精神科医療機関と連携フロー図を運用し、課題共有のための意見交換等を実施するための連絡会議を開催。 【宮古保健所】 現状・課題把握を目的とした、関係機関への聞き取り調査を実施。	1,824,870
災害時 自殺対策	なし	-
ハイリスク地 対策	なし	-
地域特性 重点特化	なし	-

6 高次脳機能障害支援普及事業

(1) 事業目的

県が指定する高次脳機能障害者の支援の拠点機関(病院等)において、高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援、関係機関との支援ネットワークの充実、高次脳機能障害の正しい理解促進のための普及・啓発事業、高次脳機能障害の支援手法等に関する研修等を行い、高次脳機能障害者に対する支援体制の確立を図る。

(2) 事業実績

①事業委託先

平成19年度9月より事業を開始しており、沖縄リハビリテーションセンター病院、平安病院の2か所に事業委託をしている。

②相談件数

平成31年4月から令和2年3月までの相談件数は1,898件となっている。

③研修実績

【令和元年度】

表19

研修名	実施機関	対象者	実施期日	会場	参加人数
就労支援研修会(高次脳機能障害者の就労支援のポイント)	主催:沖縄リハビリテーションセンター病院	一般、医療、福祉関係者等	令和元年11月2日	沖縄リハビリテーションセンター病院	52人
自動車運転再開支援研修会(運転再開支援における自動車学校と医療機関の連携)	主催:沖縄リハビリテーションセンター病院	一般、医療、福祉関係者等	令和元年10月5日	沖縄リハビリテーションセンター病院	52人
高次脳機能障害セミナー(高次脳機能障害のリハビリテーション -基礎から実践まで-)	主催:沖縄リハビリテーションセンター病院	一般、医療、福祉関係者等	令和2年1月25日	嘉手納ロータリープラザ	111人
高次脳機能障害支援普及講演会(高次脳機能障害について)	主催:平安病院	一般、医療、福祉関係者等	令和元年11月10日	沖縄国際大学	58人
高次脳機能障害専門職研修(発達障害と小児の高次脳機能障害)	主催:平安病院	一般、医療、福祉関係者等	令和元年10月19日	平安病院	133人
高次脳リハビリテーション講習会(事例で学ぶ高次脳機能障害の支援)	主催:平安病院	一般、医療、福祉関係者等	令和元年10月5日	石垣市「結い心センター」	33人

④勉強会講師等

表20

研修名	実施機関	実施期日
ケース会議	沖縄リハビリテーションセンター病院/平安病院	平成31年4月～令和2年3月
家族支援プログラム -家族座談会 あるがまま- ※家族の集い	沖縄リハビリテーションセンター病院	平成31年5月～令和2年2月
職員研修	平安病院	平成31年4月18日、7月29日、10月17日
家族の集い	平安病院	平成31年5月～令和2年2月
ジョブサポーター養成研修	平安病院	令和元年10月19日

7 総合精神保健福祉センター活動状況（令和元年度）

精神保健福祉センターは、精神保健福祉に関する知識の普及を図り、精神保健福祉に関する調査研究を行い、並びに精神保健福祉に関する相談及び指導のうち複雑または困難なものを行う施設である。

その他、精神保健福祉手帳の交付の際の判定、自立支援医療の支給認定、精神医療審査会の事務局としての役割を担っている。

(1) 普及啓発、技術指導、教育研修等状況

表21

事業名	延件数	延べ人数
技術指導支援	135	421
教育研修	30	1,581
普及啓発	18	2,568
電話相談	-	2,612
来所相談	-	164
組織育成	患者会	0
	家族会	11
	その他	1
ひきこもりデイケア	43	217
薬物・アルコール依存症ショートケア	41	138

(2) 精神医療審査会状況（令和元年度分）

精神医療審査会は、医療保護入院届、措置入院定期病状報告書、医療保護入院定期病状報告書、退院等請求に係る審査を行う。

委員は、精神障害者の医療に関し学識経験を有する者、精神障害者の保健又は福祉に関し学識経験を有する者及び法律に関し学識経験を有する者のうちから、都道府県知事が任命する。

表22

	審査件数	審査結果件数		
		現在の入院形態が適当	他の入院形態への移行が適当	入院継続不要
医療保護入院届出	3,517	3,517	-	-
入院中の定期報告	医療保護入院	1,282	-	-
	措置入院	23	21	-
計	4,822	4,820	2	-

表23

	審査件数	審査結果件数		審査中・取下げ 審査要件消失
		入院処遇は適当	入院又は処遇は不適当	
退院の請求	66	66	-	16
処遇改善の請求	19	17	2	1
計	85	83	2	17

(3) 精神障害者保健福祉手帳交付申請状況

表24

	申請		交付状況				不承認
	医師の診断書	障害年金証の写し	1級	2級	3級	計	
H22	5,194	1,293	1,331	2,720	735	4,786	33
H23	6,128	1,447	1,682	3,440	975	6,097	35
H24	5,894	1,450	1,343	3,873	699	5,915	36
H25	7,463	1,491	2,279	3,864	1,271	7,414	49
H26	7,549	1,497	2,071	3,660	1,199	6,930	37
H27	8,780	1,427	2,567	4,306	1,448	8,321	28
H28	8,612	1,509	2,366	4,163	1,508	8,037	49
H29	9,656	1,420	2,704	4,671	1,681	9,056	33
H30	9,632	1,550	2,435	4,763	1,686	8,884	57
R1	11,248	1,288	2,956	5,394	1,907	10,257	90
年度未交付者数			8,940	17,499	5,546	31,985	

8 医療費公費負担制度

(1) 制度概要

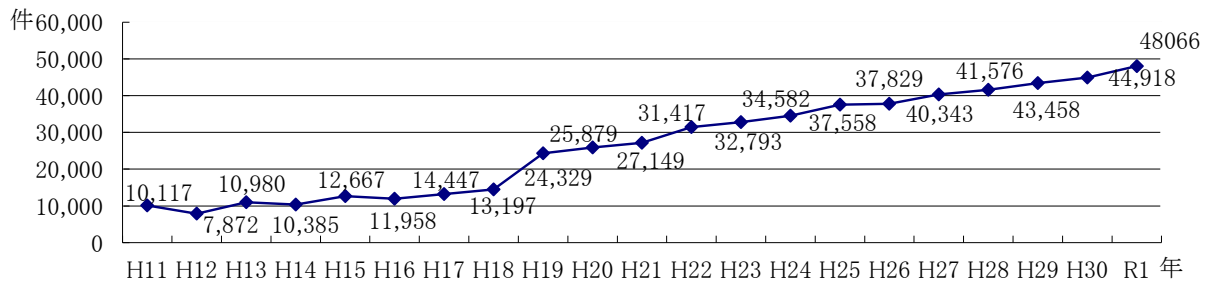
障害者等につき、その心身の障害の状態の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療費の一部を公費により負担する制度で、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」が根拠法となっている。

自己負担額は原則10%で、所得等により自己負担上限額が設定されているが、沖縄県においては、「沖縄の復帰に伴う厚生省関係法令の適用の特別措置等に関する政令(昭和47年政令108号)」第3条の規定により、医療保護入院等(沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律(昭和46年法律第129号)の施行の際、沖縄の精神衛生法(1960年立法第102条)の規定により琉球政府の負担で医療が行われていた精神障害者に限る)及び通院に要する医療費の本人負担分についても全額を公費負担(訪問看護における本人負担額は対象外)する特別措置が講じられている。

なお、障害者総合支援法では指定医療機関制度が導入され、病院・診療所のみならず、薬局、訪問看護事業所も指定されており、指定を受けた医療機関でのみ、公費が適用される。

(2) 年次別通院公費負担承認件数

図11



H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 年
 ※平成19年度における増加は、平成18年度から受給者証有効期間が2年から1年に短縮されたことによるもの。

(3) 疾患別通院公費負担承認件数

表25

診断名	年度					
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
F00 アルツハイマー病型認知症	1,553	1,864	2,083	2,352	2,466	2,627
F01 血管性認知症	297	327	343	360	366	363
F02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	1,298	1,501	1,609	1,702	1,732	1,852
F10 アルコール使用による精神及び行動の障害	1,216	1,280	1,266	1,345	1,417	1,561
覚せい剤による精神及び行動の障害	58	72	82	86	78	106
アルコール覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害	113	109	109	112	102	128
F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	13,062	13,516	13,304	13,467	13,382	13,884
F3 気分(感情)障害	12,020	12,585	13,011	13,606	14,233	15,316
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2,094	2,270	2,440	2,601	2,884	3,202
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	43	50	50	58	65	66
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	107	101	93	105	106	127
F7 精神遅滞〔知的障害〕	345	349	347	363	405	455
F8 心理的発達の障害	1,343	1,680	1,966	2,181	2,449	2,743
F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	393	482	576	676	767	887
G40 てんかん	3,853	4,120	4,215	4,369	4,372	4,660
その他	34	37	58	75	94	89
合計	37,829	40,343	41,552	43,458	44,918	48,066

9 沖縄県精神科救急医療体制概要

(1) 目的

精神科医療を必要とする者が、いつでも安心して相談や受診ができるよう、休日・夜間等の外来診療時間外において、精神障害者等の適切な医療及び保護を確保し、精神保健福祉の充実を図ることを目的とする。

(2) 内容

表26

項目	内容
対象者	1 自らの意思により、相談・診療を求める者 2 精神症状により、緊急に精神科受診を必要とする者 3 自らの意思によらない医療・保護を必要とする者
非対象者	アルコール酩酊者、身体合併症優先者(身体合併症対応病院除く)等
実施時間	休日 : 9時から翌日9時まで(24時間) 平日夜間 : 17時から翌日9時まで
精神科救急医療相談窓口	電話による相談受付 休日 : 9時から翌日9時まで(24時間) 平日夜間 : 17時から翌日9時まで ※令和2年10月1日時点。 ----- 連絡先 098-889-8893
当番病院	北圏域、南圏域ごとに1当番病院(精神科救急医療施設) 宮古、八重山圏域については現行県立病院の診療体制で対応
当番病院の診療体制等	精神保健指定医(オンコール可)1名、看護師1名、 1床の空床確保等診療応需体制を整備する。
身体合併症対応病院の診療体制等	精神保健指定医(オンコール可)1名、看護師1名、 1床の空床確保等診療応需体制を整備する。
かかりつけ病院	かかりつけ病院がある救急患者への対応は、かかりつけ病院で対応することを基本とする。
応急入院指定病院(21カ所)	北圏域:独立行政法人国立病院機構琉球病院 他6病院 南圏域:県立精和病院 他11病院 宮古圏域:県立宮古病院 八重山圏域:県立八重山病院
合併症受入協力病院	当番病院等では対応困難な身体合併症患者を受け入れる病院は、救急告示病院、県立病院、連携している病院等とする。
精神科救急医療体制連絡調整委員会	精神科救急医療体制の適切な運営を図るため医師会、精神科病院協会、警察、消防、精神科医療の学識経験者、行政等の代表者からなる委員会を設置する。
搬送	(原則) 1 診察や入院を依頼した者が搬送を行う。 2 転院患者については、転院依頼した者が搬送を行う。

(3)年度別受信状況

表27

	回数	総受信 件数	医療機関紹介				その他 の対応
			当番病院	かかりつけ病院	救急告示 病院	その他	
H23年度	854	3,625	388 〔入院 157 外来 202〕	5 〔入院 3 外来 2〕	71	28 〔入院 16 外来 12〕	3,133
H24年度	850	3,232	397 〔入院 176 外来 186〕	5 〔入院 4 外来 1〕	89	33 〔入院 18 外来 9〕	2,708
H25年度	852	3,083	418 〔入院 163 外来 216 受診無し39〕	1 〔入院 1 外来 0〕	69	37 〔入院 18 外来 16 受診無し3〕	2,558
H26年度	867	2,875	424 〔入院 188 外来 203 受診無し33〕	1 〔入院 0 外来 0 受診無し1〕	74	30 〔入院 15 外来 11 受診無し4〕	2,346
H27年度	856	3,130	431 〔入院 167 外来 218 受診無し46〕	0 〔入院 0 外来 0 受診無し0〕	61	25 〔入院 10 外来 13 受診無し2〕	2,613
H28年度	852	3,029	501 〔入院 215 外来 238 受診無し48〕	1 〔入院 0 外来 1 受診無し0〕	81	20 〔入院 11 外来 8 受診無し1〕	2,426
H29年度	851	3,322	407 〔入院 170 外来 200 受診無し37〕	1 〔入院 0 外来 1 受診無し0〕	75	29 〔入院 19 外来 7 受診無し3〕	2,810
H30年度	547	2,590	362 〔入院 151 外来 176 受診無し35〕	1 〔入院 0 外来 1 受診無し0〕	64	38 〔入院 19 外来 14 受診無し5〕	2,125
R1年度	492	2,697	370 〔入院 153 外来 186 受診無し31〕	1 〔入院 0 外来 0 受診無し1〕	59	25 〔入院 19 外来 6 受診無し0〕	2,242

○その他の対応には「指導助言」「相談機関紹介」等を含む。

令和元年度の状況

図12

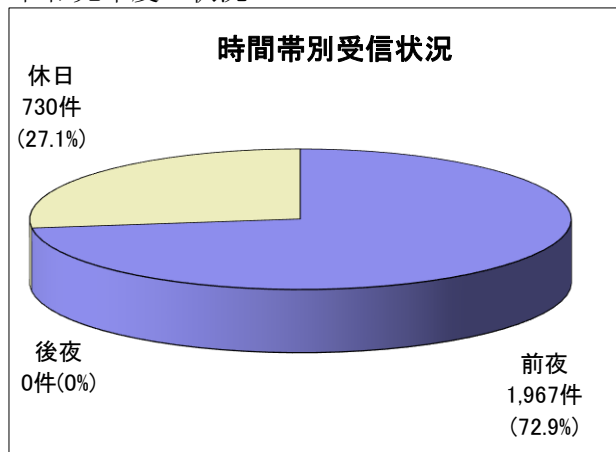


図13

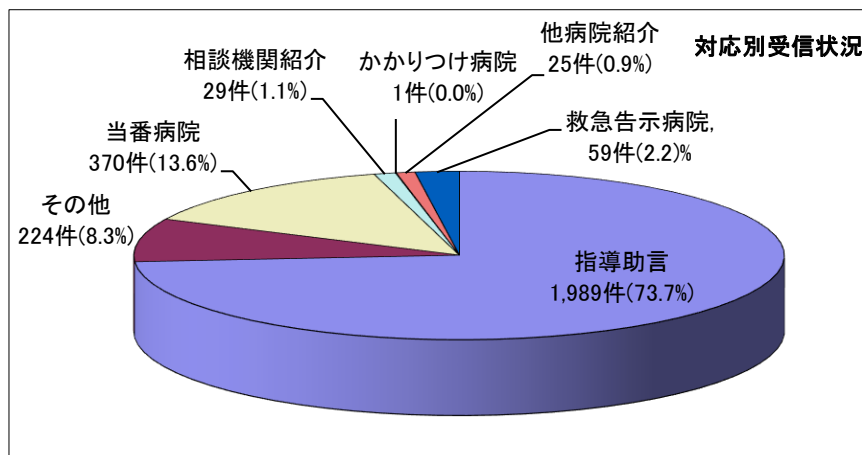
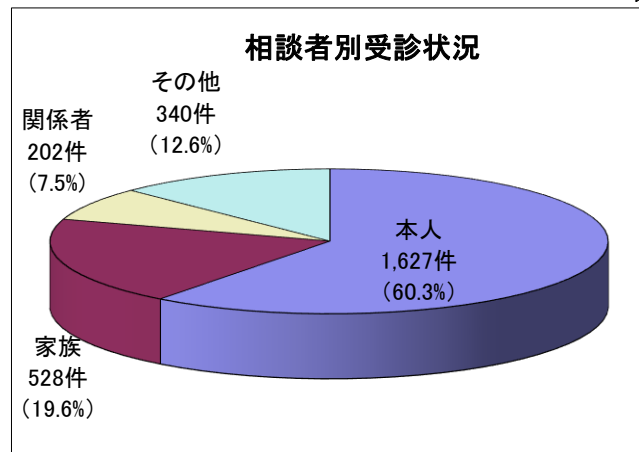


図14

<注>
 前夜(午後5時～午前1時)
 後夜(午前1時～午前9時)
 休日(土・日・祝日の午前9時～午後5時)
 回数は前夜・後夜・休日を各1回としている。

令和元年度は、精神科救急医療相談窓口
 後夜帯休止 (H30.6月～)

10 令和元年度沖縄県の精神保健福祉関係予算

(1) 令和元年度精神保健福祉関係予算

(単位:千円)表28

事項	令和元年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	比較増減額	説明
1 精神衛生費	9,393,232	9,098,874	294,358	令和元年度 国庫 4,729,744 一般 4,663,488
(1) 精神医療費	9,123,150	8,845,374	277,776	
精神医療事業費	1,266,752	1,299,617	△ 32,865	
精神障害者特定支援事業	8,948	8,904	44	・法29条、沖縄の復帰に伴う厚生省関係法令の適用の特別措置に関する政令第3条
精神保健福祉特定相談等事業	141	145	△ 4	・措置入院費 国庫負担率75%
精神保健事業費	9,964	8,609	1,355	・復帰特別措置入院費 国庫補助率80%
自殺予防事業	683	674	9	・関係団体補助
自殺対策強化事業	33,256	29,999	3,257	・特定相談事業 国庫補助率1/3 ・自殺予防事業
心のケアチーム体制整備事業	3,053	3,207	△ 154	・精神障害者通院医療費 国庫負担率50%
精神障害者自立支援医療費	7,783,942	7,467,974	315,968	・難治性精神疾患地域連携体制整備事業 国庫負担率50% ※平成29年度にて国庫補助終了 平成30年度より県単事業化
難治性精神疾患地域連携体制整備事業	0	1,880	△ 1,880	・ひきこもり対策推進事業 国庫補助率1/2
ひきこもり対策推進事業	10,000	18,138	△ 8,138	・依存症関連問題対策総合支援事業 国庫補助率1/2
依存症関連問題対策総合支援事業	5,353	5,189	164	・てんかん地域診療連携体制整備事業 国庫補助率50%
てんかん地域診療連携体制整備事業	1,058	1,038	20	・その他
(2) 精神保健福祉センター費	165,920	154,369	11,551	・職員費(総合精神保健福祉センター) ・精神保健福祉センター事業費 ・精神保健福祉センター事業費(デイケア)
(3) 精神科救急医療システム整備事業費	104,162	99,131	5,031	・精神科救急医療システムの整備
2 保健所費 精神保健相談事業費	2,205	2,259	△ 54	・保健所における相談事業等
3 民生費	24,306	26,739	△ 2,433	令和元年度 国庫 3,584 一般 10,113 特定 10,609
地域生活支援事業	7,249	8,380	△ 1,131	・高次脳機能障害支援普及事業 ・精神障害者地域移行・地域定着支援事業 ・精神障害者社会参加促進事業
通院患者リハビリテーション事業	6,448	7,989	△ 1,541	
精神障害者地域移行・ 地域定着促進基金事業	10,609	10,370	239	平成27年度から事業実施

(2) 精神医療費年度推移

(単位:千円)表29

年度	精神医療費 (事項予算額)	医療費(扶助費)			国庫 負担率	
		医療費 (扶助費)	精神医療費に 占める割合	国庫負担費		県負担費
H18	6,327,922	5,203,698	82.2%	2,907,274	2,296,424	55.9%
H19	6,777,281	5,923,762	87.4%	3,258,866	2,664,896	55.0%
H20	7,146,136	6,303,837	88.2%	3,471,030	2,832,807	55.1%
H21	7,439,170	6,628,666	89.1%	3,616,690	3,011,976	54.6%
H22	7,880,254	6,989,501	88.7%	3,784,021	3,205,480	54.1%
H23	8,380,363	7,349,314	87.7%	3,922,786	3,426,528	53.4%
H24	8,831,965	7,650,167	86.6%	4,067,107	3,583,060	53.2%
H25	9,319,354	7,793,894	83.6%	4,111,165	3,682,729	52.7%
H26	8,496,867	8,341,007	98.2%	4,376,554	3,964,453	52.5%
H27	8,448,538	8,314,516	98.4%	4,341,071	3,973,445	52.2%
H28	8,198,352	8,066,300	98.4%	4,200,812	3,865,488	52.1%
H29	8,633,563	8,506,116	98.5%	4,428,603	4,077,513	52.1%
H30	8,845,374	8,703,710	98.4%	4,510,389	4,193,321	51.8%
R1	9,123,150	8,985,280	98.5%	4,640,432	4,344,848	51.6%

※平成19年度から、精神通院医療費が(事項)精神医療費から(事項)障害者医療費に移管したため、障害者医療費を含めた額を掲載する。

※平成26年度から、(事項)障害者医療費のうち、精神通院医療に係る予算が(事項)精神医療費へ移管した。

(3) 年度別公費負担入院医療費の支払件数及び支払金額

(単位:件、千円)表30

年度 区分		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
支払 件数	措置入院	603	432	349	353	428	447	390	457
	特別措置	7,547	7,033	6,324	5,945	5,477	4,870	4,312	3,962
	計	8,150	7,465	6,673	6,298	5,905	5,317	4,702	4,419
支払 金額	措置入院	104,640	84,128	98,374	93,119	119,551	121,356	118,742	133,766
	特別措置	719,544	643,953	584,032	536,622	500,953	461,411	417,200	400,802
	計	824,184	728,081	682,406	629,741	620,504	582,767	535,942	534,568

※措置入院費については、レセプト審査を委託している沖縄県社会保険診療報酬支払基金及び沖縄県国民健康保険団体連合会からの請求金額

(4) 年度別公費負担通院医療費の支払件数及び支払金額

(単位:件、千円)表31

年度 区分		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
支払 件数	精神通院医療	539,737	561,316	585,426	609,903	629,953	657,585	678,670	698,817
	特別措置	424,550	439,239	455,285	475,792	489,898	510,597	530,624	553,594
	計	964,287	1,000,555	1,040,711	1,085,695	1,119,851	1,168,182	1,209,294	1,252,411
支払 金額	精神通院医療	6,219,718	6,428,669	6,504,530	6,756,419	6,853,803	7,225,985	7,271,657	7,371,009
	特別措置	606,265	637,143	652,949	674,576	681,763	719,008	733,304	746,266
	計	6,825,983	7,065,812	7,157,479	7,430,995	7,535,566	7,944,993	8,004,961	8,117,275

※精神通院医療費については、レセプト審査を委託している沖縄県社会保険診療報酬支払基金及び沖縄県国民健康保険団体連合会からの請求金額

